

2017

ユニバーサルデザイン整備計画



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

- 『00』 目次
- 『01』 ユニバーサルデザインとは？
- 『02』 福祉に関する建物への規制等
- 『03』 整備方針
- 『04』 整備対象予定建物
- 『05』 建物などの改善計画
- 『06』 歩道や道路などの改善計画（1）
* 歩道・注意喚起計画
- 『07』 歩道や道路などの改善計画（2）
* 道路雨水排水計画
- 『08』 サイン改善計画（1）
* 屋外誘導サイン計画
- 『09』 サイン改善計画（2）
* 道路交通標識・各種注意看板計画





ユニバーサルデザインとは？

□はじめに

近年、生涯学習のニーズ増大や地域・産業界との連携促進などにより、多様な人々がキャンパスを利用する機会が増えています。平成28年度より障害者差別解消法が施行され、施設面でバリアフリーの推進が求められていることから、本学を利用する人々が安全かつ円滑に利用できるキャンパスを目指します。

また、キャンパスマスタープランでは、高齢者や身体に障害のある方々に対してバリアフリーであることはもちろんのこと、怪我をした方やベビーカーを押した母親など、年齢・性別・能力や障害の有無に関わらず、全ての人が安全・安心にキャンパスを利用できるユニバーサルデザインの視点から整備・改善を行います。

□バリアフリーの考え方

『バリア』とは、『障壁』『邪魔になるもの』という意味で、『バリアフリー』とは、高齢者や障害のある人などが生活していく上でのバリアを、何らかの方法で取り除こうとする考え方。

□ユニバーサルデザイン（UD）の考え方

『ユニバーサル(Universal)』とは、『すべての』『みんなのための』という意味で、『デザイン(Design)』とは、『計画』『設計』という意味。文化・言語・国籍・年齢・性別・障害・能力の違いなどを問わず、全ての人が利用しやすい（使いやすい）よう配慮した考え方。

UDの7原則

- 1 どんな人でも公平に使える
- 2 使う上で自由度が高い
- 3 使い方が簡単で、すぐに分かる
- 4 必要な情報が理解しやすい
- 5 ミスに寛容・安全である
- 6 楽に使える（体への負担の少なさ）
- 7 使いやすい空間・大きさを確保する（スペースの確保）

比較表

	種類	思想・発想	普及スタイル	対象者
ハード 整備	ユニバーサル デザイン	多くの方に／使いやすい デザイン手法	良いものを褒めたたえ推奨する 【民間主導型】	すべての人
	バリアフリー	高齢者／障害者の 使いやすい街に変化	施設の計画に規制する事で普及 【行政指導型】	高齢者 障害者等
ソフト 整備	『心の』 ユニバーサル デザイン	心のやさしさや 思いやり	啓発・教育	すべての人
	『心の』 バリアフリー			





整備方針

□建物などの改善（主に建物出入り口 及び 内部移動空間）

- 対象建物は、『用途・規模的に主要な建物』『外来者が多い建物』とし、整備経過年数 及び 整備長期計画（改修・改築）を勘案する。
- メインエントランスに段差が有る場合、手摺り付きスロープを設置する。また、降雪への対応が可能か検討する。
- メインエントランスの玄関扉は、車椅子利用者等を考慮し、段差無し・幅や構造（自動ドア・引き戸など）を改善する。
- 2階建て以上の建物について、垂直動線確保によりE V（車椅子対応・音声案内）を設置し、条件等により椅子式階段昇降機の利用を検討する。
ただし、隣接建物にE Vを設置している場合は、渡り廊下接続により共用出来ないか検討する。
- 身障者対応多目的WCを、1階に1箇所設置する。

*車椅子対応便器 *跳ね上げ手摺 *L型手摺 *傾斜鏡 *車椅子対応手洗い *ベビーベッド *ベビーチェア *オストメイト(設置検討)

□歩道や道路など、移動空間の改善

- 道路について、歩車道分離を進めるため、必要に応じて歩道の整備を進める。
- 道路と歩道の横断部について、点字ブロック等の注意喚起整備を進める。
- 道路雨水排水設備（大雨時・雪解け水）について、整備を検討する。
- 屋外誘導サインについて、不足箇所への設置・情報の見直し 及び 老朽サインの更新を行う。
- 老朽化や乱立している道路交通標識、各種注意看板の更新 及び整理・再配置を行う。

財源について

整備費については、学内財源など多様な財源を検討し、計画的に整備が進むよう、財源確保に努める。

また、大型改修（施設整備費補助金）の計画がある建物については、緊急度等を考慮し、無駄の無い整備を進める。

□サイン改善

- だれもが分かりやすい、デザインされた印象に残る、建物内外のサイン整備を進める。

サインは、特定あるいは不特定の人に対する情報伝達手段であり、文字・図・記号等によって施設などの構成を明確にし、利用者の活動や行動を円滑にするものである。

本学のキャンパスは、広大で不整列な空間構成を持つことから、分かりやすいキャンパスづくりを推進するために、サインの役割は大きい。

また、機能面のみならず、サイン自体の形状・色彩・素材、あるいは文字や図等に統一性やデザイン性を持たせることによって、豊かなキャンパス環境や建物空間をイメージさせる重要な要素となる。

●キャンパスファサードの明確化

キャンパス出入口を明確化して来訪者のアクセスを容易にするため、市街地からの誘導標識を充実するとともに、入口を示す大型のサイン あるいは モニュメンタルなサインを配置する。また、キャンパスマップのリニューアルとともに、キャンパスの景観写真（樹木・風景・動物）や教育研究の特徴を示すビジュアルサインを併設させる。

●屋外サイン

正門 及び 主幹線道路・歩道を基軸に建物誘導サインを配置し、来訪者 及び 学生・教職員双方の利便性を高める。

●建物内部サイン

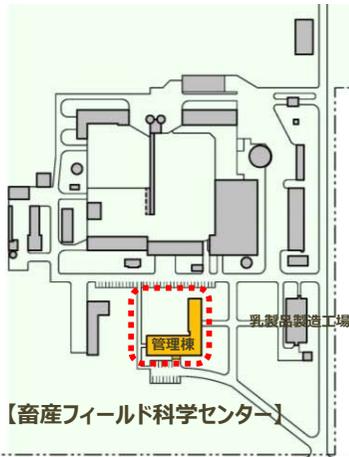
建物内部のサインシステムは屋外サインに次いで重要である。特に建物形状が複雑な場合は、目的地への移動が特に困難であることから、建物リニューアル時などに併せて整備する。

●デザイン

大学（畜大）らしさを醸し出す統一性あるデザインとし、周囲の環境へ馴染みつつ、誘導サインとして認識しやすいカラーバランスを考慮し、スクールカラーのグリーンを基調にしたデザインとする。また、歴史を刻む耐久性ある素材を使用し、変更・修正に対応可能なシステムとする。



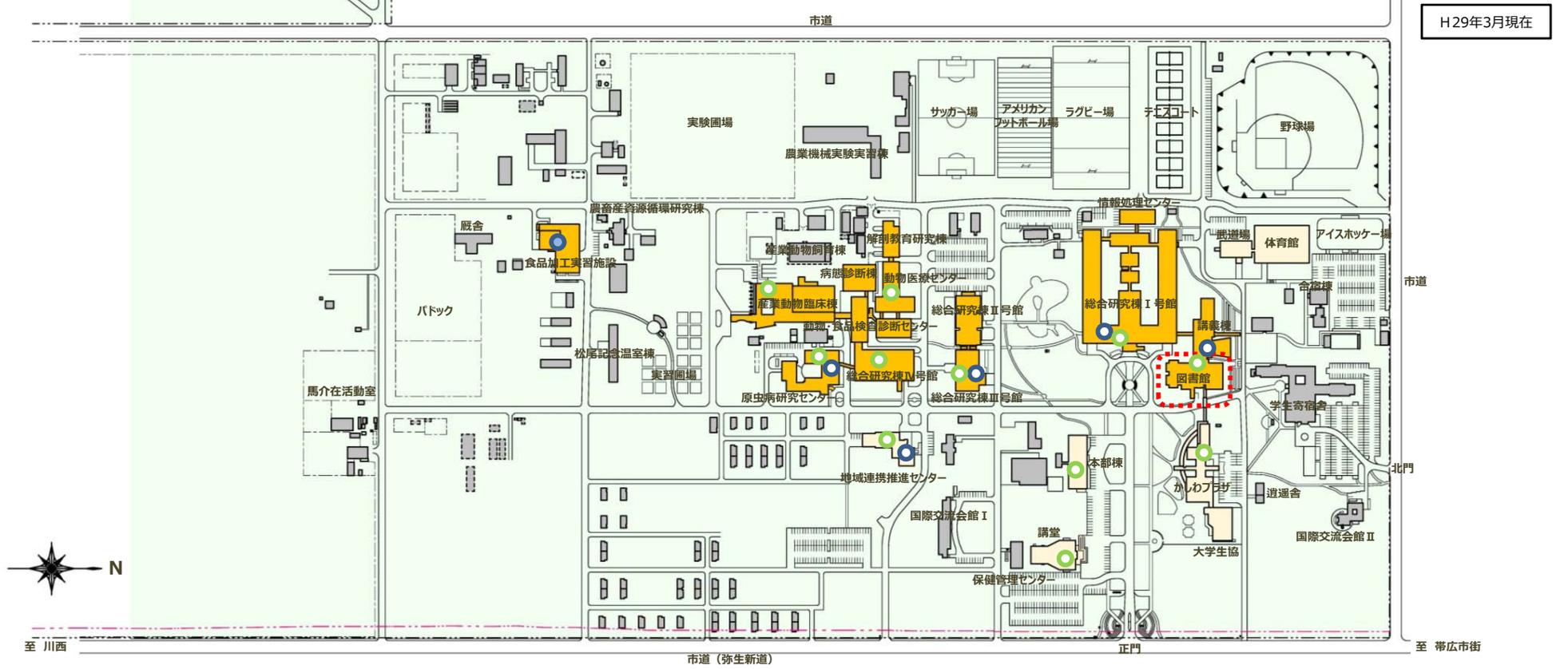
整備対象建物



整備対象とした建物の基準

- 延べ床面積が、およそ1,000㎡程度以上を目安
 - 教育研究上で主要な建物
 - 収容人員が多い建物
 - 学内の利用者が多い建物（学内・不特定者）
 - 外来者が多い建物（学外・不特定者）
 - 居住用途の建物は除外（学内・特定者）
- これらを総合的に勘案して決定

- : 整備対象建物（用途・規模的に主要な建物）
- : 整備対象建物（外来者が多い建物）
- : 大規模改修予算要求中の建物 ※整備対象から除く
- : 整備対象外建物
- : エレベーター・設置済み箇所 x5箇所
- : 椅子式階段昇降機・設置済み箇所 x1箇所
- : 多目的WC・設置済み箇所 x11箇所





建物などの改善計画

□整備計画リスト表 (建物)

現状調査表 (H29年3月 現在)

適合：規制適合が必要

努力：規制適合へ努力が必要

○：対応済み

×：未対応

－：適用外

□：改善予定項目 (学内財源等)

■：改善予定項目 (大規模改修時に対応)

【改善優先順位】

①：法不適合の部分

②：学内・学外利用者が多い建物 や 学内未設置の状況を勘案する

③：上記以外

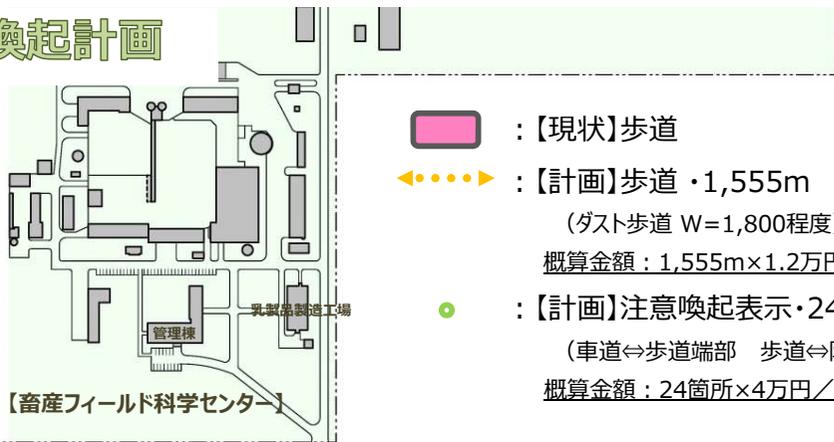
棟番号	棟名称	構造/階数	延べ床面積 (㎡)	規制等の該当有無			メインエントランス						エレベーター有り	身障者対応多目的WC有り	備考	
				バリアフリー法	北海道建築基準法施行条例	北海道福祉のまちづくり条例	床段差無し	スロープ有り (手摺付き)	スロープの降雪対策有り	自動ドア化	扉開閉方式	扉開口幅				
1	128 総合研究棟 I 号館	RC・S / 3 階	15,626	努力	適合	努力	○	○	× ②	○	○	○	○	○	○	
2	178 総合研究棟 II 号館	RC / 3 階	2,180	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	238 総合研究棟 III 号館	SR / 6 階	4,558	努力	適合	努力	○	○	× ②	○	○	○	○	○	○	
4	246 総合研究棟 IV 号館	RC / 2 階	2,529	努力	適合	努力	○	○	× ②	○	○	○	○	○	○	
5	145 講義棟	RC / 3 階	2,617	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	145 図書館	RC / 2 階	2,253	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大規模改修予算要求中
7	210 情報処理センター	RC / 2 階	849	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	236 原虫病研究センター	RC / 4 階	3,118	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	149 動物医療センター (外来診療)	S / 2 階	2,270	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	149 伴侶動物研究棟	RC / 2 階		× ①	× ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	149 解剖教育研究棟	RC / 1 階		努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	218 動物・食品検査診断センター	RC / 2 階	979	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	利用者・利用人数がある程度限定
12	261 産業動物臨床棟	RC・S / 2 階	3,738	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	258 病態診断棟	RC / 2 階	745	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	利用者がある程度限定 (学内)
14	140 食品加工実習施設	RC / 1 階	1,316	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	172 畜産フィールド科学センター管理棟	RC / 1 階	813	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	大規模改修予算要求中
15	197 講堂	RC / 2 階	1,067	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	196 本部棟	RC / 2 階	1,641	努力	○	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	239 地域連携推進センター	RC / 2 階	1,347	努力	○	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	237 大学生協	RC / 2 階	1,284	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	116/143 かしわプラザ	RC / 2 階	1,346	努力	○	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	114 体育館/武道場	RC・S / 2 階	2,846	努力	適合	努力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

椅子式階段昇降機設置



歩道や道路などの改善計画 (1)

歩道・注意喚起計画



-  : 【現状】歩道
-  : 【計画】歩道・1,555m
(ダスト歩道 W=1,800程度)
概算金額：1,555m×1.2万円/m=1,866万円
-  : 【計画】注意喚起表示・24箇所
(車道⇄歩道端部 歩道⇄階段)
概算金額：24箇所×4万円/箇所=96万円

- 車・自転車・人が分離されていない幹線道路等を、安全で利便性の高い、ユニバーサルな移動動線へ改善する。
- 主要幹線道路へ歩道を新設し、コスト・維持費・景観を考慮した工法を採用する。
- 視覚障害への対応で、歩道の端部には点字ブロック等の注意喚起表示を行う。



ダスト歩道・イメージ



注意喚起表示・イメージ



至 川西

市道 (弥生新道)

正門

至 帯広市街



歩道や道路などの改善計画 (2)

道路雨水排水計画



■ : 道路排水・改善予定道路

● : 【計画】単独浸透枳・5 4 箇所

(浸透枳+浸透トレンチ @50m程度)

概算金額：54箇所×35万円/箇所=1,890万円

- 大雨時や雪解け水による、一時的な滞水・冠水が発生し歩行障害となっている。
- 発生頻度や規模を考慮し、計画的に改善工事を行う。
- コンクリート製浸透枳(重耐荷重グレーチング)を設置し、処理水規模により浸透トレンチ管を併用する。



浸透枳・イメージ



浸透トレンチ管・イメージ



至 川西

市道 (弥生新道)

正門

至 帯広市街



□屋外誘導サイン計画

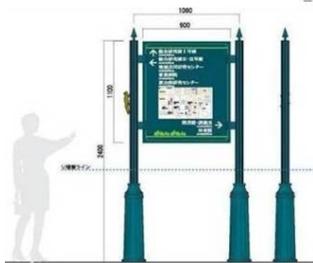


- ◇ : 【現状】キャンパス入り口案内サイン
- ▬ : 【現状】総合案内サイン
- ▽ : 【現状】誘導案内サイン
- ▼ : 【計画】誘導案内サイン・7箇所
(鋳鉄・アルミ製矢板システムサイン程度)
概算金額 : 7箇所×65万円/箇所 = 455万円

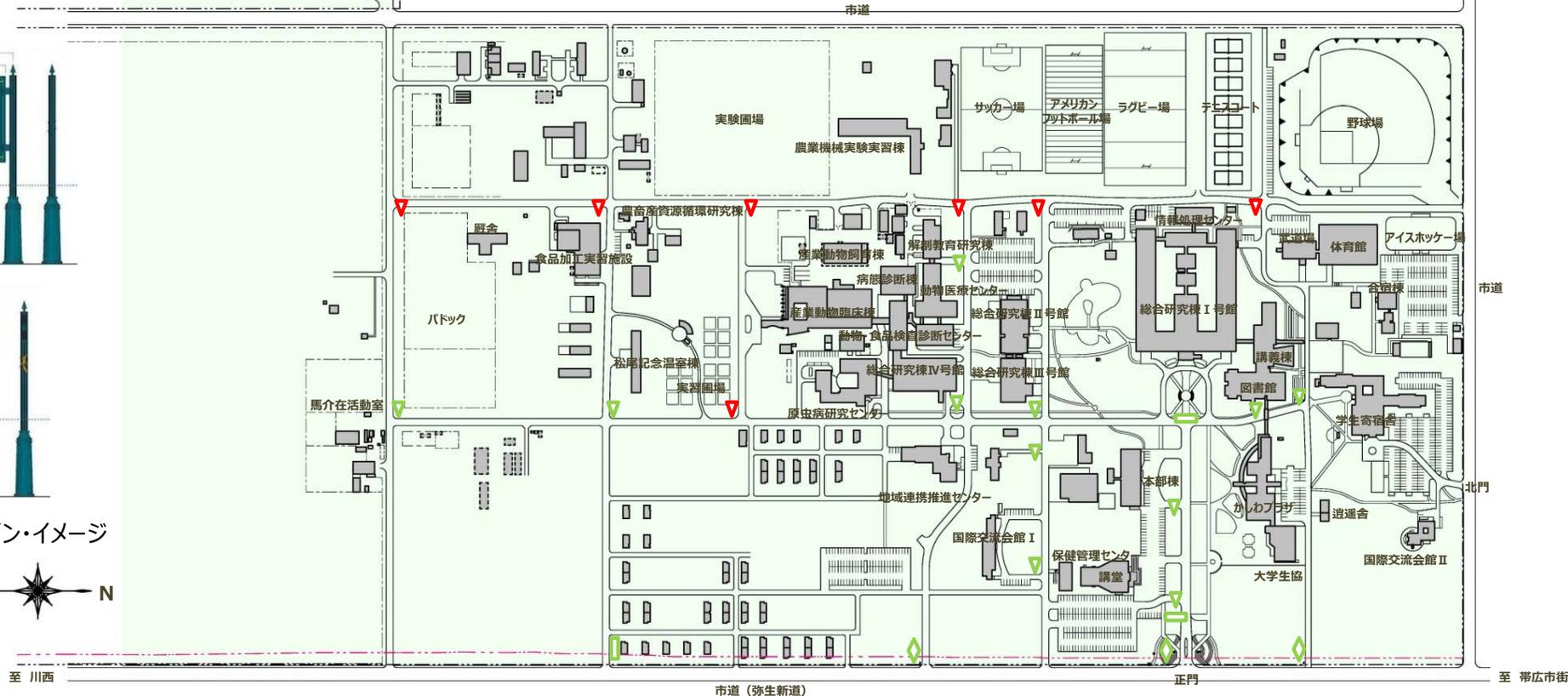
○設置済みの、総合案内サイン・誘導案内サインについて、情報の更新 及び 見直しを行う。

○未設置である幹線道路沿いの交差点部に、矢板型誘導案内サインを設置する。

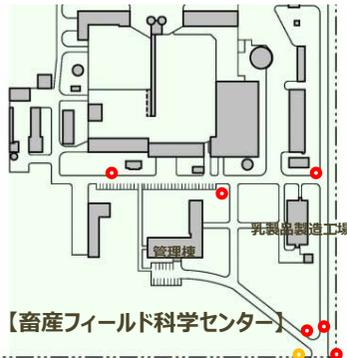
○矢板型誘導サインについて、既設と同じスクールカラー(緑)の鋳鉄製システムサインを設置する。



矢板誘導案内サイン・イメージ



□ 道路交通標識・各種注意看板計画



□ 道路交通標識 □ 駐車場表示 □ 防疫関係 □ その他注意看板

- : 【現状のまま】標識, 看板類・ 1 1 3 箇所
 - : 【更新計画】標識, 看板類・ 1 5 箇所
 - : 【新設計画】標識, 看板類・ 9 箇所
(更新・新設標識, 看板類)
- 概算金額: 24箇所×5.5万円/箇所 = 132万円

○老朽化し、破損・変形・剥がれ・情報未更新な各種標識や看板類について、更新 及び 整理再配置を行う。

○更新する標識・看板類は、耐久性があり比較的移動が可能な仕様とし、屋外サインと同じく周囲の環境に馴染み、統一された認識しやすいものとする。



老朽化著しい、各種標識・看板

